



## 2024年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月8日

上場会社名 株式会社 ユークス

上場取引所 東

コード番号 4334 URL <https://www.yukes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 行規

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 橋木 孝志

TEL 072-224-5155

四半期報告書提出予定日 2023年9月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト等向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年1月期第2四半期の連結業績(2023年2月1日～2023年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第2四半期	2,032	4.8	164	67.6	238	63.5	177	66.8
2023年1月期第2四半期	2,135	23.7	508	57.1	653	18.8	534	17.2

(注) 包括利益 2024年1月期第2四半期 182百万円 (66.0%) 2023年1月期第2四半期 536百万円 (15.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第2四半期	21.18	20.89
2023年1月期第2四半期	61.96	61.53

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第2四半期	4,560	3,920	85.2
2023年1月期	4,759	4,046	84.3

(参考) 自己資本 2024年1月期第2四半期 3,883百万円 2023年1月期 4,014百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期		0.00		30.00	30.00
2024年1月期		0.00			
2024年1月期(予想)				42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年1月期の連結業績予想(2023年2月1日～2024年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,923	84.3	1,615	70.4	1,622	48.5	1,192	35.0	141.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年1月期2Q	11,096,000 株	2023年1月期	11,096,000 株
期末自己株式数	2024年1月期2Q	2,691,980 株	2023年1月期	2,665,543 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年1月期2Q	8,396,275 株	2023年1月期2Q	8,632,016 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されています。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況です。

当社グループに関連するエンタテインメント業界におきましては、大型買収が話題になるなど、活況ぶりが伝えられております。

そのような環境のもと、当社グループの受託ソフトにおいては、新進気鋭の米国プロレス団体である「All Elite Wrestling」(略称「AEW」)から開発受託した、同団体をモデルとしたプロレスゲームがTHQ Nordicから2023年6月29日に発売されました。新規案件につきましては、2024年に発売を予定している「四角い地球に再びシカク現る!? デジボク地球防衛軍2 EARTH DEFENSE FORCE: WORLD BROTHERS」(発売元:株式会社ディースリー・パブリッシャー)の開発を受託いたしました。その他、複数のプロジェクトの開発が進んでおります。

XR事業分野においては、2023年8月19日に「ガールズ&パンツァー バーチャルライブ、はじめます!~オオアライで全員集合!!!!!!~」(主催:株式会社バンダイナムコフィルムワークス、株式会社バンダイナムコミュージックライブ)において、ユークス独自の技術ALiS ZERO®を使い、キャラクターのCGモデル制作、リアルタイムモーションキャプチャー担当としてライブ制作に参加いたしました。

パブリッシング事業分野においては、DCコミックスのキャラクターをテーマにしたオンライン・トレーディングカードゲーム「DCデュアルフォース」のオープンベータテストを、2023年7月14日米国太平洋標準時午後12時より開始し、2023年8月31日よりアーリーアクセスに移行いたしました。今後はベータテストで得られたデータに基づき、最終調整と機能追加、バランス調整を行いながら、dcdualforce.comのほか Steam / Epic Games Store におけるリリースや他の言語への拡大を行う予定です。

パチンコ・パチスロ分野においては、引き続き複数タイトルの映像開発プロジェクトを受託しており開発が順調に進行しております。

その他、モバイルコンテンツ分野も複数のプロジェクト開発が進んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は2,032百万円(前年同期比4.8%減)、経常利益は238百万円(前年同期比63.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は177百万円(前年同期比66.8%減)となりました。

なお、当社グループは、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの業績の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して199百万円減少し4,560百万円となりました。主な要因としては、現金及び預金の減少578百万円、仕掛品の減少52百万円、ソフトウェア仮勘定の増加415百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して73百万円減少し639百万円となりました。主な要因としては、未払法人税等の減少81百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して125百万円減少し3,920百万円となりました。主な要因としては、親会社株主に帰属する四半期純利益177百万円、剰余金の配当252百万円、自己株式の増加103百万円によるものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動においては183百万円の資金を獲得(前年同期は327百万円の資金の獲得)、投資活動においては423百万円の資金を使用(前年同期は215百万円の資金の使用)、財務活動においては361百万円の資金を使用(前年同期は143百万円の資金の使用)いたしました。

以上の結果、現金及び同等物は、前連結会計年度末より578百万円減少し1,309百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2023年1月期決算短信(2023年3月10日公表)において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報にもとづき判断した見通しであり、実際の業績等は、業況の変化等により記載の予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,888,164	1,309,320
売掛金及び契約資産	885,242	920,463
商品	0	0
仕掛品	63,354	10,920
前払費用	241,002	267,371
その他	61,177	4,771
貸倒引当金	△218	△250
流動資産合計	3,138,721	2,512,597
固定資産		
有形固定資産	31,979	38,333
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	899,440	1,315,365
その他	2,329	1,925
無形固定資産合計	901,769	1,317,291
投資その他の資産		
その他	792,159	794,161
貸倒引当金	△104,852	△102,052
投資その他の資産合計	687,307	692,109
固定資産合計	1,621,056	2,047,733
資産合計	4,759,778	4,560,331
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	254,993	303,278
未払法人税等	150,638	69,097
契約負債	77	7,297
賞与引当金	101,039	81,198
その他	88,444	59,851
流動負債合計	595,192	520,723
固定負債		
長期未払金	200	200
退職給付に係る負債	117,436	118,171
その他	250	250
固定負債合計	117,886	118,621
負債合計	713,078	639,345
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	412,902	412,902
資本剰余金	466,215	509,957
利益剰余金	4,040,181	3,965,094
自己株式	△957,988	△1,061,607
株主資本合計	3,961,310	3,826,345
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52,773	57,532
その他の包括利益累計額合計	52,773	57,532
新株予約権	32,615	37,109
純資産合計	4,046,699	3,920,986
負債純資産合計	4,759,778	4,560,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
売上高	2,135,119	2,032,760
売上原価	1,357,838	1,318,298
売上総利益	777,281	714,461
販売費及び一般管理費	268,901	549,974
営業利益	508,379	164,486
営業外収益		
受取利息	4,585	6,859
受取配当金	1,044	1,344
為替差益	133,444	61,972
その他	6,019	4,629
営業外収益合計	145,093	74,805
営業外費用		
支払利息	148	156
自己株式取得費用	271	499
営業外費用合計	419	656
経常利益	653,053	238,636
特別利益		
新株予約権戻入益	-	4,600
特別利益合計	-	4,600
税金等調整前四半期純利益	653,053	243,236
法人税等	118,211	65,409
四半期純利益	534,842	177,826
親会社株主に帰属する四半期純利益	534,842	177,826

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	534,842	177,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,090	4,758
為替換算調整勘定	5,024	-
その他の包括利益合計	1,933	4,758
四半期包括利益	536,776	182,584
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536,776	182,584
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	653,053	243,236
減価償却費	3,074	4,187
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,221	735
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,010	△19,840
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,105	△2,768
株式報酬費用	12,841	28,841
受取利息及び受取配当金	△5,629	△8,203
支払利息	148	156
為替差損益 (△は益)	△123,604	△22,876
新株予約権戻入益	-	△4,600
売上債権の増減額 (△は増加)	△187,218	△35,221
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,569	52,433
未払金の増減額 (△は減少)	165,789	46,111
契約負債の増減額 (△は減少)	△22,000	7,220
その他	△62,744	9,150
小計	415,247	298,563
利息及び配当金の受取額	4,666	6,640
利息の支払額	△148	△156
助成金の受取額	-	10,000
法人税等の支払額	△102,750	△131,738
法人税等の還付額	10,373	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	327,388	183,309
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,522	△7,964
無形固定資産の取得による支出	△206,919	△415,925
差入保証金の差入による支出	△8,530	-
差入保証金の回収による収入	996	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△215,976	△423,890
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
ストックオプションの行使による収入	-	16,634
自己株式の取得による支出	△57,482	△126,110
配当金の支払額	△85,599	△251,164
その他	△271	△499
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,352	△361,139
現金及び現金同等物に係る換算差額	126,681	22,876
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	94,741	△578,843
現金及び現金同等物の期首残高	1,971,786	1,888,164
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,066,528	1,309,320



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、重要な加減算項目や税額控除項目を考慮して税金費用を算定しております。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第2四半期連結累計期間（自 2022年2月1日 至 2022年7月31日）および当第2四半期連結累計期間（自 2023年2月1日 至 2023年7月31日）

当社グループの事業は、デジタルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。